

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部

本社：千葉県茂原市渋谷1016-12

メール：agree@green.ocn.jp

agree-sys@excite.co.jp

HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館
江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418

開館時間：9：00～17：00

休館日：月曜日

問い合わせ：0465-81-5339

HP：http://edomingu.com/

上野の森美術館

デトロイト美術館展

大西洋を渡ったヨーロッパの名画たち

モネ ルノワール ゴッホ セザンヌ

ピカソ マティス

DETROIT
INSTITUTE OF ARTS
EXHIBITION

デトロイト美術館展

大西洋を渡ったヨーロッパの名画たち

モネ ルノワール ゴッホ セザンヌ マティス ピカソ

特別協賛：RICOH

2016
10.7fri-1.21sat選りすぐりの
全作品に感動

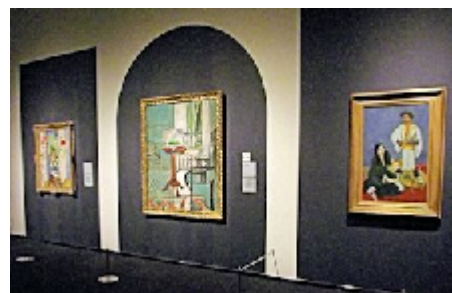
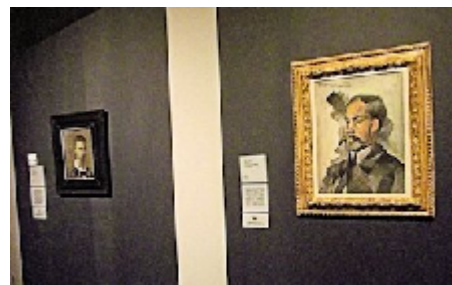
充実したデトロイト美術館は、1885年開館以来地元自動車業界の資金援助を機会に、古代エジプトから現代美術品を収集してきた。その数6万5千点にのぼると言われている。それらの作品を多くの美術ファンに鑑賞してもらいた

「デトロイト美術館展」が、今年の4月（豊田市美術館）から始まり、7月に（大阪市立美術館）と巡回展を経て、10月7日から上野の森美術館で開催され、人気を博している。

現代美術品を収集してきた。その数6万5千点にのぼると言われている。それらの作品を多くの美術ファンに鑑賞してもらいた



市立美術館を巡回し、10月7日～2017年1月21日まで上野の森美術館で開催されている。なかでも本展では、アメリカの公共美術館として初めて展示されたゴッホの『自画像』やマティスの『窓』、ピカソの『読書する女性』をはじめ、モネ、

次号は
10月27日発行

◆ 10月7日（金）
 上野の森美術館（東京都台東区上野公園1-2）
 10月3日 3833円 419円
 1 一般 1600円 高校生 1200円 中学生 600円
 10月21日（金） 休館

ドガ、ルノワール、ゴーギャン、セザンヌ、キルヒナー、モディリアーニらの選りすぐりの作品が観覧できる特典となっている。

展示会は「印象派」「ポスト印象派」「20世紀のドイッ絵画」「20世紀のフランス絵画」の4つの章に分けて、解りやすく紹介しているのが特徴。

メモ

21日（土）

■ 諸橋近代美術館（福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23） 一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円生*毎週土曜日、小・中学生は無料
 電話 0241(37)1088

版画でみる20世紀展
 ピカソからウオーホルまで
 開催中！

熱海湾を一望でき、眺望ナンバーワンの美術館

■ MOA美術館（静岡県熱海市桃山町26-2） 電話 0557-(84)2511 一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円木曜日休（祝日は開館）
 JR熱海駅下車／バス4番のりばMOA美術館行8分

佐野美術館創立50周年・三島市制75周年記念

名刀は語る 磨きの文化

名刀はあらゆる物語を：

名刀が美しい輝きを放っているのは、鍛冶されてから今日に至るまでの数百年の間、絶えず磨き続けてきた人々がいたからだと言われます。この間、名刀は多くの人の手に渡り、それにふさわしい多くの物語が生まれました。「磨く」ことで輝きを得る刀と、名刀を持つことでそれに相応しい己になるべく自己を「磨く」人々がいたのだ。

本展では日本人が培ってきた、磨くことによって素材の美しさを引き出す文化をテーマに、刀剣をはじめ、

拵（こしらえ）に使用される金工技法や漆工技法も含め紹介していく。

なお、前期（11月12日・12月23日）・後期（1月7日・2月19日）で作品を一部入れ替えがある。

メモ
◆ 11月12日
(土) ～ 2017年2月19日 (日)

佐野美術館（静岡県三島市中田町1-43） TEL 055-975-7278
一般・大学生1000円 小・中・高校生500円 木曜日、12/24・1/6 休館



洞窟壁画が東京に出現！

今から2万年ほど前、フランス南西部のヴェズール渓谷にある洞窟に、躍動感溢れる動物たちの彩色画が描かれていた。そこはラスコー洞窟、壁画を描いたのはクロマニヨン人。ラスコー洞窟の壁画は、彼らが描いた数ある壁画の中でも色彩の豊かさや、技法、そして600頭とも言われる描かれた動物の数と大きさなどが格別に素晴らしいと言われており、1979年に世界遺産にも登録された。壁画を保存するため、洞窟は現在非公開となっている。

国立科学博物館

くクロマニヨン人が残した洞窟壁画
特別展 世界遺産 ラスコー展



いるが、その魅力を広く人々に知ってもらうべく、フランス政府公認のもと制作された展覧会が「ラスコー展」。

本展では、2万年前の人類の豊かな創造性や芸術のはじまりを知る旅になりそう。

メモ
◆ 11月1日
(火) ～ 2017年2月19日 (日)

国立科学博物館（東京都台東区上野公園7-20） TEL 03-5777-8600（ハローダイヤル）
一般・大学生1600円 小・中・高校生600円 月曜日、12/28・1/1 休館

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

■ 国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市城内町117） 電話03（5777）8600
ハローダイヤル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下は無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本等多岐にわたる

■ 静岡市立芹沢銕介美術館（静岡市駿河区登呂5-10の5） 電話054（282）5522 一般410円 高大生250円、月曜日休館

庭園ゾーン、書院ゾーン、体験ゾーン、展示ゾーン

■ 北九州市立小倉城庭園（北九州市小倉北区城内1の2） 電話093（582）2747 会期中無休

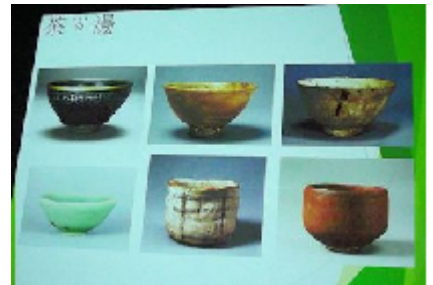
東京国立博物館では 37年ぶりの開催

茶の湯



” 37年ぶり奇跡の開催”
となった「特別展 茶の湯」
が、来春2017年4月11

**来春4月
開催が決まる！**



日、6月4
日まで、東
京国立博物
館・平成館
で開催され
ることが発
表された。

東京国立
博物館で
は、198
0年の「茶
の美術」展
以来、37
年ぶりの開
催。

本展では
「創造」を
キーワード
に、室町時

代の将軍家の「茶の湯」に
はじまり、千利休から古田
織部へ、そして古典再興の
礎を築いた小堀遠州や松平
不味をとりあげ、最後は近
代の「茶の湯」まで大規模
に展開。
各時代を象徴する名品の
美と歴史を通じて、それら
に寄り添った人々の茶の湯
に対する心の軌跡、そして
次の世代に伝えるべき日本
の美の源泉をたどる。

メモ

◆2017年
4月11日（火）

～6月4日（日）

東京国立博物館 平成館
（東京都台東区上野公園13
9）TEL 03 5777
8600（ハローダイヤル）
お得な早割りペア券！11
/7から12/4まで200
0円（税込み）

開館50周年記念特別展

速水御舟の全貌

日本画の破壊と創造

23年ぶりの 大回顧展

山種美術館は、山種証券
（現・SMBCフレンド証
券）の創立者である山崎種
二（1893 1983）

105点を一括購入し、計
1200点の御舟作品を所蔵
することになった山種美術
館は、以来、「御舟美術館」
として親しまれてきた。

本展では、開館50周年を
記念し、当館の「顔」とも
いえる御舟コレクション
に、他所蔵の各時期の代表
作品も加え、初期から晩年
にいたる御舟の作品約80点
でその画業の全貌をふり返
る。

「梯子の頂上に登る勇氣
は貴い、更にそこから降り
て来て、再び登り返す勇氣
を持つ者は更に貴い」と語
り、新しい日本画を目指し
て努力と挑戦を続けた御舟
は、40年という短い人生の
中で、一つのところにとど
まらず、生涯を通して新た
な表現に挑み続けた画家
だった。

本展では、研鑽を積んだ
修業時代や画塾の兄弟子・
今村紫紅の感化を受けた時
代から始まり、洋画家・岸田
劉生や西洋画、宋代院体花
鳥画などへの意識から生ま

メモ

◆前期…10月
8日（土）～11
月6日（日）、後期…11月
8日（火）～12月4日（日）

山種美術館（東京都渋谷
区広尾3 12 36）TEL 0

55 975 7278
一般1200円 大高生9
00円 中学生以下無料

月曜日休館（43）TEL 055
975 7278 一般
1200円 大高生900
円 中学生以下無料 月曜

日休館

特集



横浜トリエンナーレ YOKOHAMA TRIENNALE

タイトル、コンセプト「島と星座とガラパゴス」



横浜市で3年に一度行われる現代アートの国際展、ヨコハマトリエンナーレ2017のタイトル、コンセプトが「島と星座とガラパゴス」に決まり、このほど発表された。

多様性を受け入れる心豊かさ

横浜市では3年に一度開催される現代アート国際展、ヨコハマトリエンナーレ2017（会期2017年8月4日～11月5日）は、このほどタイトルが、ジャンルや世代を超えたメン

バーからなる「構想会議」での議論を経て、「島と星座とガラパゴス」に決定したことを発表。

像力・創造力をもつて、未来への知恵を多くの人々と共に考えていく。

横浜トリエンナーレの基本的な考え方として、我が国を代表する現代アートの国際展として、創造都市横浜の発展をリードするとしても、多様性を受け入れる心豊かな社会の形成に寄与する。

このタイトルを手掛かりとして、先行きの見えない複雑な時代に、人間の想

新港111となる。構想会議メンバーは、スハーニヤ・ラフェル、スプツニ子、高階秀爾、リク

リット・テイラヴァーニヤ、鷺田清一、養老孟司、逢坂恵理子、三木あき子、柏木智雄（ヨコハマトリエンナーレ2017 ディレクターズ）。

会期に先立つ2017年1月より定期的に連続会議「ヨコハマラウンド」を開催し、タイトルに関係する諸問題や可能性について議論していく。



2016年11月20日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●東京国立近代美術館

「トーマス・ルフ展」 11月13日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円

●江戸東京博物館

「よみがえれ! シーボルトの日本博物館」 11月6日まで Tel 03 3626 9974 一般1400円 月曜日休館

●東京藝術大学美術館

「驚きの明治工芸展」 10月30日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 月曜日休館

●東京都写真美術館

「世界報道写真展」 10月23日まで Tel 03 3280 0099 一般800円 月曜日、10/11休館

●東京都写真美術館

「杉本博司 ロスト・ヒューマン」 11月13日まで Tel 03 3280 0099

一般1000円 月曜日休館

●東京ステーションギャラリー

「動き出す! 絵画ペール北山の夢」 11月6日まで Tel 03 3212 2486 一般1000円 月曜日休館

●太田記念美術館

「国芳ヒーローズ 水滸伝豪傑勢揃」 10月30日まで Tel 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 会期中無休

●三井記念美術館

「松島 瑞巖寺と伊達政宗」 11月13日まで Tel 03 7777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 月曜日休館

●サントリ美術館

「鈴木其一 江戸琳派の旗手」 10月30日まで Tel 03 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 火曜日休館

●日本科学未来館

「THE NINJA」 10月10日者つてナンジャ」 10月10日

日まで Tel 03 3570 9151 一般1600円 火曜日休館

●出光美術館

「大仙厓展」 11月13日まで Tel 03 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●世田谷美術館

「志村ふくみ 母衣への回帰」 11月6日まで Tel 03 3577 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

東京郊外

●三鷹市美術ギャラリー

「生誕120年記念 小林かいち展」 10月23日まで Tel 04 22 79 0033 一般600円 月曜日休館

●武蔵野市立吉祥寺美術館

「デビュー20周年記念 どれい展」 10月2日まで Tel 03 3570 9151

422 22 0385 一般1000円 10/26休館

関東南部

●茅ヶ崎市美術館

「北斎漫画館 画は伝神の具也」 11月6日まで Tel 04 67 88 1177 一般700円 月曜日休館

●平塚市美術館

「香月 秦男と丸木位里・俊、そして川田喜久治」 11月20日まで Tel 04 63 35 2111 一般900円 月曜日休館

●横須賀美術館

「女性を描く クールベ、ルノワールからマティスまで」 10月23日まで Tel 04 68 45 1211 一般1200円 10/3休館

●横浜みなと博物館

「柳原良平 海と船と港のギャラリー」 11月6日まで Tel 04 5 221 0280 一般2000円 月曜日休館

●カサヤの森現代美術館
「山本正道 シモン・パシエカ 寓話との出会い」
10月16日まで Tel 04 6852 3030 一般600円 月・火曜日休館
●静岡県立美術館 「ランス美術館展」 10月30日まで Tel 05 4 273 1515 一般1200円 月曜日休館

関東北部

●埼玉県立近代美術館

「NEW VISION S AITAMA 5」 迫り出す身体 11月14日まで Tel 04 8 824 0011 一般1100円 月曜日休館

●群馬県立近代美術館

「美術と音楽 音楽をめざす美術のこころ」 11月13日まで Tel 02 7 346 5560 一般820円 月曜日休館

●高崎市美術館

「愛のなかの女性たち」 11月18日まで Tel 02 7 324 6125 一般3000円 月曜日休館

●お出かけの際は、再度ご確認ください

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館

(神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84) 2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上) 1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

●江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81) 5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを楽します

●箱根写真美術館

(神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 電話0460(82) 2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

Art Topics

切り絵で描く、絵物語
横森テルオ 個展



横森テルオ個展（切り絵）
2016年10月22日（土）～10月30日（日）

Art Gallery LOS PINOS
& Cafe

メモ
（土）10月22日
（日）10月30日
Art Gallery LOS PINOS
& Cafe（金輪兼
藤沢市南藤沢7-1-6
02）TEL 0466-1121
612000 12:00
18:00 水曜日休廊

昆虫、魚、花、鳥、動物
：特にうさぎ、猫など、身
近な動物が語ります！



メモ
（金）11月4日
（土）11月5日
（日）11月6日
Art Gallery LOS PINOS
& Cafe（金輪兼
藤沢市南藤沢7-1-6
02）TEL 0466-1121
612000 12:00
18:00 水曜日休廊

市野雅彦展 —土のおもむくまま—

日々の暮らし
から生れる
LIXILギャラリーで

は、11月4日（金）～12月
36日（月）「市野雅彦展
土のおもむくまま」が開
催される。



「丹波土焼（たんばつちやき）」
2015年・30×18.5×11cm
写真/ 鈴木利孝



「Untitled」
2016年
13.5×14×24cm

市野雅彦氏は、古窯丹波
焼の茶陶の家に生まれ育
ち、最年少で日本陶芸最優
秀作品賞を受賞、丹波焼の
伝統的な技術と風土の精神

を受け継ぎながら、独自の
現代的な造形作品を制作し
ている。
本展では、陶歴35年の多
様なスタイルの中から、土

の表情や質感をテーマに自
然の生命力を感じさせるよ
うな造形作品10点を展示す
る。丹波の日々の暮らしの
中から生れ出してくる、市野
氏の心像を映した大らかで
温かみがあり、どこかユー
モラスな作品を楽しめる。
市野氏は若き日の修業時
代に京都で日々土づくりを
行った経験から、丹波に
帰ってから土を集め、現
在100トンにもなるコレ
クションがある。
土に宿る自然の生命力を
生かし、それぞれの個性、
魅力を伝え、日々の暮らし
の中から生れてくるような
モノづくりを行っている。
その造形は柔らかな味があ
る焼締めによる「丹波土
魂」、心像風景の中の田園
をイメージした「Un-
titled」など、土の感触
を表現した作品。